

### 【出題の意図】

出題を通して意図していることは、「入学後に必要な国語能力を身に着けていただく」ということです。国語の力は考える力とかかわり、その能力を高めることは他の教科の学習の向上につながります。

そのためには「筆者の意見を正確に読み取る力」「物事を論理的に考える力」「適切な言葉づかい、文章作成の力」「正しい漢字、慣用句などを使う基礎的言語力」などが必要であり、受験勉強を、それらを身に着けるきっかけにさせていただきたいと思います。

### 【出題形式】

本校の国語の試験はここ数年同じ形で出題しています。問題は大きく2つに分かれ、一つ目は説明文、二つ目は物語文からの出題です。説明文は小学生でもわかりやすい話題の文章を選んでいきます。また、物語文は少年少女が登場する文章をなるべく選ぶようにしています。

それぞれの問題には8つ程度の問いがあり、それぞれに文章形式で解答する記述問題が3題ほどあります。

また大問1では漢字の問題、大問2では慣用句、ことわざなどの成句を問う問題を必ず出題しています。

### 【解答の前提】

解答の前提として、文字を丁寧に書くこと、字数を指定する問題が出たときは、句読点を一字として数えるのか数えないのかを確認すること、行数で指定されている問題は、一行の欄に2行以上書かないようにすること、といった注意をまもってください。

なお、本校の記述問題のうち行数で指定する問題は、字数の制限はありませんが、一行が25～30字程度になるように出題しています。

### 【記述問題の注意点】

記述問題では、3つの点に注意してください。

- ①答えに必要な要素が書かれているか
- ②自然な文になっているか

### ③問われていることに答えているか

採点では、要素ごとに点を加えています。必要な要素が少しでもあれば中間点がつく可能性がありますが、文として完成させてください。また、本文のことばのつぎはぎではなく、意味が通る文に仕上げてください。そして、質問に合わせた答え方をしてほしいと思います

#### 【本日の問題解説】

〈出典〉

出典は千野帽子『人はなぜ物語を求めるのか』（ちくまプリマー新書）です。前後関係とは異なる因果関係について述べた章です。

#### 問一

1 頁下段 54 行目（1）「因果関係は頭のなかではなく、じっさいに存在するのだ。」に対する作者の説明を問う問題です。1 頁下段 49 行目～51 行目の段落には、筆者の主張「因果関係とは観察者（認識する人）の思考なかに存在する」が書かれています。そして、続く 52 行目～56 行目の段落に、予想される反論、「因果関係は頭（思考）のなかではなく、じっさいに存在する、つまり、科学的にみると、村人は因果関係を間違っ認識している。」ということが書かれています。この反論のポイントは、「因果関係は科学的に決まる。つまり、人間（認識する人）の思考で決まるわけではない」ということです。これに対して筆者の説明はどうなっているのかを、設問に従って 59 行目～84 行目で捜します。まず、59 行目～60 行目では、「因果関係は文化、文脈、発話のジャンルによって異なる→科学的に決まるだけではない」とあり、また、69 行目～84 行目には、「現代の日本人も自然科学に矛盾するような因果関係の説明をするということが、阪神タイガースファン一家のジンクス、縁起担ぎを具体例として述べられているので、ここをまとめます。

#### 問二

1 頁下段 64 行目（2）「彼らにとって雨乞いは、壇の固い蓋をひねって開ける行為に似ています。」を説明する問題です。「彼らにとって雨乞い」は「壇の固い蓋をひねって開ける行為」に似ている、ということは、共通点がある、ということです。「彼らにとって雨乞い」は、雨が降るまで踊りを続ける、言い換えれば、踊りを続ければ雨が降る、ということです。

また、「壇の固い蓋をひねって開ける行為」は、力を加え続ければ蓋は開くわけですから、共通点は、行為を続けることによって、目的が達成されるということになります。これを文末が「～こと。」となるようにまとめます。

### 問三

2頁下段 107 行目 (3)「年表や履歴書は、小説や新聞記事といったもっとストーリーらしい文章と、どう違うのでしょうか。」とある、その違いを説明する問題です。87 行目～89 行目の段落に、「年表や履歴書が前後関係であることが書かれており、また、110 行目～114 行目の段落に、新聞記事や小説が因果関係であることが書かれていますので、そこをまとめます。ただし、設問の条件として、「年表や履歴書」を使わずに、「前者」、同様に「新聞記事や小説」を使わずに「後者」を使用する必要があります。

### 問四

2頁下段 118 行目 (4)「ときには滑らかさのせいで小説がつまらなくことがある。」の理由を問う問題です。115 行目～116 行目の段落に、「なぜ」という「問い」と「回答」が、「滑らかさ」をもたらすことが書かれています。ということは、因果関係である小説のなかに「問い」も「答え」も用意されているということになります。そうすると、読者が自分自身で問いを立て理由を考える余地がせばまることになりますので、答えは ウとなります。

### 問五

因果関係を示す文を選ぶ問題です。1頁上段 27 行目～29 行目にある「おまじないをしたから、雨が降った」が因果関係ですから、「～から、～」という書き方の文を選びます。因果関係を示しているのはアだけで、イ～エは、前後関係です。

### 問六

空欄AからDに適切なことばを入れる問題です。例年、つなぎ言葉（接続語）や修飾語が出題されます。ことばのつながりに注意して選んでください。

### 問七

漢字の書き取りです。楷書で丁寧に書く必要があります。

## 問八

本文の内容に合致しているものを選ぶ問題です。1 頁下段 49 行目～51 行目の段落に、「因果関係とは観察者（認識する人）の思考のなかに存在する」「実際に存在するわけではない」とあり、これとほぼ同じことを言っているイが正解です。他の選択肢を見ますと、誤りが含まれています。アでは、「話を聞くだけの現代の日本人には理解できない」、ウでは「因果関係は…科学の説明とは矛盾していて」、エでは、「前後関係はある結果と別の結果の優劣の確認のことである」が誤りです。